

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年9月29日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年9月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【当社ホームページに公表している「海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt;(全<math>\beta</math>・<math>\gamma</math>)」の5, 6号機放水口北側の分析結果の誤記について】 協力企業分析員が化学分析棟において、9月26日に当社ホームページに公表した「海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt;(全<math>\beta</math>・<math>\gamma</math>)」の5, 6号機放水口北側(T-1)のセシウム134および137の分析結果の内容を見直していたところ、備考欄のセシウム134と137検出限界未満の記載について、検出限界値誤記を確認。 原因は、分析装置に測定試料形状を設定する際、異なる測定試料形状を設定して測定したためと判明。 公表データは修正済み。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G II	9月27日
2	<p>【増設淡水化装置の濃縮水出口逆止弁のシート漏えいについて】 当社社員が増設淡水化装置のろ過水槽水入替え操作時に、5, 6号中央制御室にて「濃縮水安全弁一次側圧力高」の警報を確認。 現場を調査したところ、濃縮水出口逆止弁からのシート漏えいを確認。 建屋滞留水の淡水化処理については浄化ユニットにて処理が可能なため問題なし。 当該弁については、今後、交換修理を実施する。</p>	G III	9月23日
3	<p>【凍土遮水壁設備冷却塔(1A-4)の補給水量低下について】 当直員が免震重要棟集中監視室にて、凍土遮水壁設備冷却塔(1A-4)の「冷却塔下部水槽湯水、ポンプ、ヒータ停止」の警報が発報したことを確認。 現場を調査したところ、冷却塔への補給水量が、他の冷却塔と比較して低下していることを確認。 当該冷却塔の強制補給水弁の開度調整を行い、補給水量を増加させたことで、警報は復帰。 また、凍土遮水壁冷却塔の運転に問題なし。 今後、原因を調査し対策を検討。</p>	G III	9月23日
4	<p>【凍土遮水壁設備冷却塔(1A-8)の補給水量低下について】 当直員が免震重要棟集中監視室にて、凍土遮水壁設備冷却塔(1A-8)の「冷却塔下部水槽湯水、ポンプ、ヒータ停止」の警報が発報したことを確認。 現場を調査したところ、冷却塔への補給水量が、他の冷却塔と比較して低下していることを確認。 当該冷却塔の強制補給水弁の開度調整を行い、補給水量を増加させたことで、警報は復帰。 また、凍土遮水壁冷却塔の運転に問題なし。 今後、原因を調査し対策を検討。</p>	G III	9月23日
5	<p>【サブドレン他水処理施設のNo.5集水タンク入口遮断弁のシート漏えいについて】 当直員が免震重要棟集中監視操作室において、サブドレン他水処理施設のNo.5集水タンクの水位が、受入停止中にも関わらず、上昇していることを確認。 現場を調査したところ、タンク入口遮断弁のシート漏えいを確認。 当該弁の前弁を「閉」とし水位上昇は停止。 今後、当該弁を点検予定。</p>	G III	9月27日